

大阪成蹊短期大学

キャリアプランニングファイル
2008-2009

学 科	
学籍番号	
氏 名	

入学生のみなさんへ

「キャリアプランニング」とは、皆さんが自分の将来の生き方(キャリア)を考え、そのために何をすればいいのかを定めて実行(プランニング)することを指しています。将来を見据えた、意味のある短大生活を実現する手助けになれば、と大阪成蹊短大ではキャリアプランニングファイルを用意しました。このファイルには、大阪成蹊短大生としての皆さんの成長を応援するために、キャリアプランニングへのヒントがまとめられています。このファイルを有効に活用して、短大生活を有意義に過ごして下さいることを願っています。

目次

建学理念	2
目指してほしい人物像とは	3
キャリアプランニングファイルの使い方	4
桃李への蹊 Four Stages	5
キャリアプランニングファイルの重要性	6
1 入学時の自己を確認しておこう	7
2 First Stage(1回生前期)開始にあたっての決意	8
3 First Stage(1回生前期)を振り返って	9
4 Second Stage(1回生後期)に向けての改善策	9
5 Second Stage(1回生後期)開始にあたっての決意	10
6 Second Stage(1回生後期)を振り返って	11
7 Third Stage(2回生前期)に向けての改善策	11
8 この一年を振り返ってみよう	12
9 将来に向けて何を考えましたか	13
10 まわりとの関係に目を向けてみよう	14
11 Third Stage(2回生前期)開始にあたっての決意	15
12 Third Stage(2回生前期)を振り返って	16
13 Final Stage(2回生後期)に向けての改善策	16
14 Final Stage(2回生後期)開始にあたっての決意	17
15 Final Stage(2回生後期)を振り返って	18
16 短大での2年間を総合的に振り返って	19
17 将来に向けて何を考えましたか	20
18 まわりとの関係に目を向けてみよう	21
19 最後に…	22
資料 短大時代の成果をまとめておこう	23
アドバイス記入欄	25

■ 建学理念

教育目標の基本にある建学の精神

桃李不言下自成蹊

「桃李言わざれども下自ら蹊を成す」

建学の精神を実践する行動指針

“忠恕”の精神

※論語に登場することばで、「忠(誠実さ)」「恕(思いやり)」の意味があります。

「他者を思いやり、理解する。
対話を通じて自己を主張し
相手を理解する。」

大阪成蹊短期大学の大学名「成蹊」は、中国の大歴史家司馬遷の『史記』巻百九、李將軍列伝の中にある「桃李不言下自成蹊」に由来するものです。

「桃李言わざれども下自(おのずか)ら蹊(みち)を成す」と読み、桃や李は何も言わないが、その美しい花や実にひかれて、人が集まり、木の下には自然に道(蹊 みち/こみち)ができるという意味です。

徳が高く、尊敬される人物のもとには、徳を慕って人々が集まってくるというたとえです。

本学の教育は、このように人間としての徳を磨き、その上に専門的知識を修得することを基本方針としています。

校庭には、校祖 中 伊兵衛先生をたたえた「忠恕」の碑が立っています。「忠恕」とは、他人に対して誠実で思いやりのあることを意味しています。思いやりがあれば、他人に迷惑をかけるようなことはしないはずで、「忠恕」の心は人として持つべきマナーの基本です。

本学の教育は、「忠恕」を、建学の精神を実践するための行動指針としています。

<目指してほしい人物像とは>

■ 大阪成蹊短期大学のポリシー

人間教育のベンチマーク

(建学の精神に基づいた社会人としての総合的な力を培う教育)

1. 徳を身につけること
2. 誠実で思いやりをもって行動すること
3. 幅広く、深い教養を養うこと
4. 豊かな人間性を育むこと

専門職業教育のベンチマーク

(社会で活かせる実践力を培う教育)

- 【総合生活学科】「衣」および「食」の専門家として知識を深め、技術を磨く
- 【児童教育学科】教育者・保育者に求められる豊かな人間性を育む
- 【観光学科】観光サービスのプロにふさわしい豊かな知識と教養、国際的なセンスを培う
- 【表現文化学科】クリエイティブな発想力と表現力を養う
- 【経営会計学科】幅広い視野をもって、経営的センスをみがき、あらゆる企業で即戦力として役立つ実力を育てる

■ 短大生として身につけたい基礎的な力

コミュニケーション力、プレゼンテーション力、
文章力、読解力、英語力、情報活用力

■ キャリアプランニングファイルの使い方

キャリアプランニングファイルに記入する時期と記入方法

キャリアプランニングファイルは、それぞれ記入する時期が決まっています。記入時期は、各ページの右上に、次の例のように囲い文字で示してあります。

例 入学時、FS First Stage(1回生前期) 開始……

キャリアプランニングファイルは、皆さんに書き込んでもらうためのものです。自分の役に立つよう考えて記入して下さい。もっとも大切なことは、自分で考えて、自分と正直に向き合って、将来を見据えるために記すことです。

追加用紙の入手方法（電子ファイルでの管理も可能です）

入学時に配布したキャリアプランニングファイルには、短大2回生終了までに必要となる、最少量の用紙が含まれています。もっと用紙が必要な場合や、自分なりに項目を付け加えて使いたい際には、短大のホームページにアクセスして下さい。ダウンロードできる形でキャリアプランニングファイルが準備してあります。

進路とキャリアプランニングファイル

短大での2年間の先には、就職するのか、あるいは大学へ編入するのか、二つの進路が待っています。キャリアプランニングの中で、進路決定はもっとも重要な事項の一つです。

今日多くの企業は、「自律した学生の採用」を希望しています。このファイルは、就職活動の準備という重要な一面を持っています。

大学への編入にも、自分が何を目指してより高度な学問の修得を志すのか、この点を明確にしておくことが欠かせません。このファイルは、このためにも多いに役立つ仕組みになっています。

■ 桃李への蹊 Four Stages

	各ステージの目標	内容
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">First Stage (1回生前期)</div> 学びの発掘、自己の模索、 自己目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短大での学習目標を理解する ・ 短大生としての基本マナーやルールを身につける
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Second Stage (1回生後期)</div> 自己目標の見直し、適性の探求	<ul style="list-style-type: none"> ・ 望ましい将来像を探り、その実現に向け資質を高める ・ 資格や免許の目標を設定する ・ 学生生活を見直す ・ 就職活動の準備をする
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Third Stage (2回生前期)</div> 進路目標の明確化、自己の見つめ直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路目標を明確化し、専門性を高める ・ 就職活動に取り組む
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Final Stage (2回生後期)</div> 飛躍への準備、学生生活の集大成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生生活を振り返って評価する ・ 就職や進学に向け具体的な準備をする

■ キャリアプランニングファイルの重要性

有意義な短大生活を送るために

入学したばかりでは「2年間もあるのだから」と、時間がたっぷりあるように思えるかもしれませんが、しかし、時はあっという間に流れてゆきます。卒業後に就職を考えている人にとっては、1回生後半から就職活動がはじまるわけですから、丸々2年間をゆっくり「学生」らしく過ごすことは難しいでしょう。大学編入希望者も同じです。高度な学問の修得には、基礎的な力をつける短大時代の過ごし方が、大学での充実度を左右するといっても言いすぎではないでしょう。

そこで皆さんには、「短大生活をどのように充実させるのか」「なぜそのような短大生活を送りたいのか」を考えた上で、短大生活を送ってもらいたいのです。なぜなら、この自覚があってはじめて、卒業時に自分自身の成長を実感でき、さらに社会で生きていくうえでの大きな財産を得ることができるからです。

短大での学びとは？（答えを見つけるプロセスを楽しもう）

短大での学びは、高校までのそれとは違っています。高校までは、学校が与えることを「理解」し「覚える」ことが基本でした。高校での好成績とは、「理解する」「覚える」能力が優れていたということでしょう。

では短大での学びとはどのようなものなのでしょうか？ それは、問いの答えが必ずしも一つとは限らないというところにその特徴があります。さまざまな答えを導き出すためにどのようなプロセスをたどるのか、そのプロセスを楽しみながら学ぶのが短大での学びです。もちろん「理解する」「覚える」ことが全く求められないわけではありません。短大での学びにたどりつくための、最低限の基礎知識は、もちろん必要です。短大では、その基礎知識を踏まえて、さらに高度な学びが求められています。

社会に出るといふこと（社会は答えのない判断だらけ）

社会に出るといふことは、答えのない判断を常に求められる立場に身を置くということでもあります。社会に出れば、マニュアルは基本的にありません。自らの力（情報収集力、判断力、コミュニケーション力など）の積み重ねによって、求められた問いに答を出さなければなりません。短大での学びは、あらかじめ答えのない問いに、自ら答を出す準備・演習になっています。

自律的な学生を目指して

みなさんにやってもらうキャリアプランニングは、「何のために学ぶのか」「学んだことが自分にとってどういう意味があったのか」など、目的設定と評価を反復することで、自分の今後の人生を考える手がかりを探ろうとするものです。短大での勉強以外の、自分にとっての意味探しにも応用できます。このプランニングファイルは、指示待ちではなく主体的に自分の進路や人生を考えると、自律的な学生を目指す人のために作られています。

なぜ自律的な学生が求められるのか

近年の就職環境は、めまぐるしく変化するところにその特徴があります。短大・大学の名前で就職先が決まることは、もちろんありません。企業は、企業が求める学生だけに絞り込んで採用するようになりました。

背景には、「あらゆる活動が知識や情報を直接的な基盤とするという、いわゆる知識基盤社会化が進んでおり、産業構造をはじめ社会構造が大きく変化」（中教審）している事情があります。こうした中であって社会が求めているのは、みずからの知的・文化的基盤を、自律的にたえず充実・向上させようとする人材です。

企業が求めるのも、与えられたことを単にそつなくこなしていた学生ではなく、「学生時代に何をやっていったのか」「なぜそれをやっていったのか」の説明ができる学生、すなわち自律的に学び、主体的に行動できる学生になったのです。「個性的で創造的」な「目標設定型」の人材が求められています。自律的な学生は「目標設定型」の人でもあります。

1 入学時の自分を確認しておこう

<p>短大に入る前に得意だったこと、不得意だったことは何だろうか。</p> <p>得意科目、趣味、社会活動・アルバイト経験 など</p>	<p>得意だったこと。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>不得意だったこと。</p>
<p>なぜ大阪成蹊短大に来ようと思ったのだろうか。</p>	
<p>短大でやりたいことは何だろうか。</p> <p>とりたい資格、受けてみたい授業、やってみたいアルバイト など</p>	<p>なぜそれをしてみたいのだろうか。</p>

2 First Stage (1回生前期) 開始にあたっての決意

(カッコに、とても重視する…◎、やや重視する…○、重視しない…× を記入しよう)

2

<態度・マナー面>

- () 目標のために継続して努力する
- () 約束や提出物の期限を守るなど、すべきことをきちんとする
- () 周りのひとと協力して物事を達成する
- () あいさつは自分から積極的にする
- () 丁寧な言葉で話をする

<学習面>

- () 「建学の精神」「学科の目指す教育」を理解する
- () 授業には遅刻せず出席する
- () 授業中、私語をせずに集中力を保つ
- () 気持ちを切り替え、意欲的に授業にのぞむ
- () 講師の説明をよく聞き、よくメモする
- () 人に頼らず作業をする
- () 授業以外で予習復習をする
- () 人が嫌がる作業を率先してする
- () 自分の考えをきちんと適切な言葉で説明してみる
- () 授業で学んだ内容を他の人に話してみる
- () 授業で分からないことはすぐに解決できるようにする
- () 資格を取る、またはその準備をする(具体的に:)

<生活面>

- () 人の話を助言としていかす
- () 興味のある部活動・サークルに入る
- () 新しい友人をつくる
- () 多くの人たちに話しかける
- () 様々なイベント、レジャー、ボランティア等に顔を出し、自分の興味がどこにあるか探す
- () アルバイトを探す
- () 自分で料理をつくってみる
- () 本を読んでみる
- () 一般教養を身につける
- () 映画を見てみる
- () 日常の出来事やニュースなどの話題を、友人や家族としてみる
- () 自分にとって居心地のよい場所を探す

その他の決意を具体的に記述しよう

3 First Stage (1回生前期)を振り返って

(カッコに、A：できた、B：まあまあできた、C：あまりできなかった、D：できなかったを記入しよう)

3	<態度・マナー面>	
	目標のために継続して努力した	()
	約束や提出物の期限を守るなど、すべきことをきちんとした	()
	周りのひとと協力して物事を達成した	()
	あいさつは自分から積極的にした	()
	丁寧な言葉で話をした	()
	<学習面>	
	「建学の精神」「学科の目指す教育」を理解した	()
	授業には遅刻せずに出席した	()
	授業中、私語をせずに集中力を保った	()
	気持ちを切り替え、意欲的に授業にのぞんだ	()
	講師の説明をよく聞き、よくメモした	()
	人に頼らず作業をした	()
	授業以外で予習復習をした	()
	人が嫌がる作業を率先して行った	()
	自分の考えをきちんと適切な言葉で説明した	()
	授業で学んだ内容を他の人に話した	()
	授業で分からないことはすぐに解決できるようにした	()
	資格を取る、またはその準備をした(具体的に:)	()
	<生活面>	
	人の話を助言としていかした	()
	興味のある部活動・サークルに入った	()
	新しい友人をつかった	()
	多くの人たちに話しかけた	()
	様々なイベント、レジャー、ボランティア等に顔を出し、自分の興味がどこにあるか探した	()
	アルバイトを探した	()
	自分で料理をつくってみた	()
	本を読んでみた(具体的タイトル:)	()
	一般教養を身につけた	()
	映画を見てみた(具体的タイトル:)	()
	日常の出来事やニュースなどの話題を、友人や家族とした	()
	自分にとって居心地のよい場所を探した(具体的に:)	()

4 Second Stage (1回生後期)に向けての改善策

4	反省点をふまえ、態度・マナー面、学習面、生活面での改善策を具体的に記述しよう
---	--

5 Second Stage(1回生後期)開始にあたっての決意

(カッコに、重視する…◎、やや重視する…○、重視しない…× を記入しよう)

5

<態度・マナー面>

- () 目標のために継続して努力する
- () 約束や提出物の期限を守るなど、すべきことをきちんとする
- () 周りのひとと協力して物事を達成する
- () あいさつは自分から積極的にする
- () 丁寧な言葉で話をする

<学習面>

- () 授業には遅刻せずに出席する
- () 授業中、私語をせずに集中力を保つ
- () 気持ちを切り替え、意欲的に授業にのぞむ
- () 講師の説明をよく聞き、よくメモする
- () 人に頼らず作業をする
- () 授業以外で予習復習をする
- () 自分の考えをきちんと適切な言葉で説明してみる
- () 授業で学んだ内容を他の人に話してみる
- () 授業で分からないことはすぐに解決できるようにする
- () 資格を取る、またはその準備をする(具体的に:)
- () 興味があればインターンシップに参加してみる

<生活面>

- () 人の話を助言としていかす
- () 多くの知人から、より親しくつきあっていく人を探す
- () 自ら計画を立てて旅行してみる(旅行先:)
- () 多くの年配の人と話をしてみる
- () 気になる本をチェックし、まとめて読む
- () 気になる映画をたくさん見る
- () 一般教養を身につける
- () 新聞やニュースなど、世の中の動きを欠かさずチェックする
- () 日常の出来事やニュースなどの話題を、友人や家族としてみる
- () 今まで興味のなかったことに目を向けてみる(具体的に:)
- () 家族と将来の話をしてみる
- () 友人と協力して何か目標を達成してみる(具体的目標:)
- () 就職セミナーなど就職準備のための活動に参加してみる

その他の決意を具体的に記述しよう

6 Second Stage (1回生後期)を振り返って

(カッコに、A：できた、B：まあまあできた、C：あまりできなかった、D：できなかったを記入しよう)

6	<態度・マナー面>	
	目標のために継続して努力した	()
	約束や提出物の期限を守るなど、すべきことをきちんとした	()
	周りのひとと協力して物事を達成した	()
	あいさつは自分から積極的にした	()
	丁寧な言葉で話をした	()
	<学習面>	
	授業には遅刻せずに出席した	()
	授業中、私語をせずに集中力を保った	()
	気持ちを切り替え、意欲的に授業にのぞんだ	()
	講師の説明をよく聞き、よくメモした	()
	人に頼らず作業をした	()
	授業以外で予習復習をした	()
	自分の考えをきちんと適切な言葉で説明した	()
	授業で学んだ内容を他の人に話した	()
	授業で分からないことはすぐに解決できるようにした	()
	資格を取る、またはその準備をした(具体的に:)	()
	興味があればインターンシップに参加した	()
	<生活面>	
	人の話を助言としていかした	()
	多くの知人から、より親しくつきあっていく人を探した	()
	自ら計画を立てて旅行した(旅行先:)	()
	多くの年配の人と話をした	()
	気になる本をチェックし、まとめて読んだ(具体的タイトル:)	()
	気になる映画をたくさん見た(具体的タイトル:)	()
	一般教養を身につけた	()
	新聞やニュースなど、世の中の動きを欠かさずチェックした	()
	日常の出来事やニュースなどの話題を、友人や家族とした	()
	今まで興味のなかったことに目を向けてみた(具体的に:)	()
	家族と将来の話をした	()
	友人と協力して何か目標を達成した(具体的に:)	()
	就職セミナーなど就職準備のための活動に参加した	()

7 Third Stage (2回生前期)に向けての改善策

7 反省点をふまえ、態度・マナー面、学習面、学習面での改善策を具体的に記述しよう

8 この一年を振り返ってみよう

<p>この一年間自分はどう変わっただろうか。</p> <p>行動力がついた、視野が広がった、新しい経験ができたことなどについて具体的な内容を記述しよう</p>	<p>変わったきっかけは何だろうか。</p> <p>その変化は自分にとってどんな意味があるだろうか。</p>
<p>この一年間でどんな能力が向上しただろうか。</p> <p>冒頭の〈目指してほしい人物像〉に示された内容を再確認しよう</p>	<p>能力の内容。</p> <p>何が向上をもたらしたのか。</p>
<p>予想していたとおりにできなかったことは何だろうか。</p>	<p>どうしたらできるようになるだろうか。</p>

9 将来に向けて何を考えましたか

<p>自分は卒業後の進路をどのように考えているだろうか。</p> <p>もしくは、自分の人生をどのようなものにしていきたいと考えているだろうか。</p>	
<p>自分は社会に対してどのような貢献ができるだろうか。</p> <p>もしくは、社会でどのようなことがしたいのだろうか。</p>	<p>どんなこと、どんな貢献をしたいのか、なるべく具体的に書こう。</p> <p>-----</p> <p>なぜそう思ったのか、実現するためにはこれからどんな努力が必要だろうか。</p>
<p>就職後の職業だけでなく、仕事以外の活動が社会にどう貢献できるか考えよう</p>	<p>その職業は社会にどのような役割を果たしているのだろうか。</p> <p>-----</p> <p>なぜその職業に関心を持ったのだろうか、もしくは関心が深まったのだろうか。</p> <p>-----</p> <p>その職業にはどんな能力が必要だろうか。</p>

10 まわりとの関係に目を向けてみよう

この一年間で、出会って良かったと思える人はだれだろうか。

その人の名前や特徴。

その人とはどのような関係にあるのだろうか。

なぜ良かったと思えるのだろうか。

11 Third Stage (2回生前期) 開始にあたっての決意

(カッコに、とても重視する…◎、やや重視する…○、重視しない…× を記入しよう)

11

<態度・マナー面>

- () 目標のために継続して努力する
- () 約束や提出物の期限を守るなど、すべきことをきちんとする
- () 周りのひとと協力して物事を達成する
- () あいさつは自分から積極的にする
- () 丁寧な言葉で話をする

<学習面>

- () 授業には遅刻せずに出席する
- () 授業中、私語をせずに集中力を保つ
- () 気持ちを切り替え、意欲的に授業にのぞむ
- () 講師の説明をよく聞き、よくメモする
- () 授業以外で予習復習をする
- () 自分の考えをきちんと適切な言葉で説明してみる
- () 授業で学んだ内容を他の人に話してみる
- () 授業で分からないことはすぐに解決できるようにする
- () より専門的な科目をがんばって受講してみる
- () インターネットを活用した情報収集能力を向上させる
- () レポート提出に力を入れて取り組む
- () 単位を絶対に落とさないように授業に取り組む

<生活面>

- () 後輩と親しくなる
- () アルバイトや部活、サークル等で後輩の面倒をみる
- () 日常の出来事やニュースなどの話題を、友人や家族としてみる
- () 自分が喜びを感じる時はどんな時か考えてみる
- () 目標とする人物像を考えてみる
- () 就職セミナーなど就職準備のための活動に積極的に参加してみる
- () 一人の時間を多くとってみる
- () 資格を取る(具体的に:)
- () 新聞やニュースなど、世の中の動きを欠かさずチェックする
- () 今まで興味のなかったことに目を向けてみる(具体的に:)
- () 多くの年配の人と話をする
- () 家族やまわりの人と具体的な将来像を話してみる

その他の決意を具体的に記述しよう

12 Third Stage (2回生前期)を振り返って

(カッコに、A：できた、B：まあまあできた、C：あまりできなかった、D：できなかったを記入しよう)

12	<態度・マナー面>	
	目標のために継続して努力した	()
	約束や提出物の期限を守るなど、すべきことをきちんとした	()
	周りのひとと協力して物事を達成した	()
	あいさつは自分から積極的にした	()
	丁寧な言葉で話をした	()
	<学習面>	
	授業には遅刻せずに出席した	()
	授業中、私語をせずに集中力を保った	()
	気持ちを切り替え、意欲的に授業にのぞんだ	()
	講師の説明をよく聞き、よくメモした	()
	授業以外で予習復習をした	()
	自分の考えをきちんと適切な言葉で説明した	()
	授業で学んだ内容を他の人に話した	()
	授業で分からないことはすぐに解決できるようにした	()
	より専門的な科目をがんばって受講した	()
	インターネットを活用した情報収集能力を向上させた	()
	レポート提出に力を入れて取り組んだ	()
	単位を絶対に落とさないように授業に取り組んだ	()
	<生活面>	
	先輩と親しくなった	()
	アルバイトや部活、サークル等で先輩の面倒をみた	()
	日常の出来事やニュースなどの話題を、友人や家族とした	()
	自分が喜びを感じる時はどんな時か考えた	()
	目標とする人物像を考えた	()
	就職セミナーなど就職準備のための活動に積極的に参加した	()
	一人の時間を多くとった	()
	資格を取った(具体的に:)	()
	新聞やニュースなど、世の中の動きを欠かさずチェックした	()
	今まで興味のなかったことに目を向けた(具体的に:)	()
	多くの年配の人と話をした	()
	家族やまわりの人と具体的な将来像を話した	()

13 Final Stage (2回生後期)に向けての改善策

13 反省点をふまえ、態度・マナー面、生活面、学習面での改善策を具体的に記述しよう

14 Final Stage (2回生後期) 開始にあたっての決意

(カッコに、とても重視する…◎、やや重視する…○、重視しない…× を記入しよう)

14

<態度・マナー面>

- () 目標のために継続して努力する
- () 約束や提出物の期限を守るなど、すべきことをきちんとする
- () 周りのひとと協力して物事を達成する
- () あいさつは自分から積極的にする
- () 丁寧な言葉で話をする

<学習面>

- () 卒業や資格、免許に必要な単位を落としていないか確認する
- () 授業には遅刻せず出席する
- () 授業中、私語をせずに集中力を保つ
- () 気持ちを切り替え、意欲的に授業にのぞむ
- () 講師の説明をよく聞き、よくメモする
- () 授業以外で予習復習をする
- () 自分の考えをきちんと適切な言葉で説明してみる
- () 授業で学んだ内容を他の人に話してみる
- () 授業で分からないことはすぐに解決できるようにする
- () より専門的な科目をがんばって受講してみる
- () レポート提出に力を入れて取り組む

<生活面>

- () 卒業後の進路をきちんと定める
- () 友人と卒業旅行の計画を立てて実行する
- () 一人暮らしができるように(掃除、洗濯、自炊など)心がけてみる
- () 短大生活で得た友人、親友は誰かを考えてみる
- () 内定先の人と親しくなる努力をする
- () 気の合わない人とも積極的に話をしてみる
- () 日常の出来事やニュースなどの話題を、友人や家族としてみる
- () 新聞やニュースなど、世の中の動きを欠かさずチェックする
- () 多くの年配の人と話をする
- () 社会に出て必要となる資格を取る(具体的に:)
- () 家族やまわりの人と具体的な将来像を話してみる

学生生活でしかできないことのリストを作ってみよう

・
・
・
・

卒業後のことも考慮に入れ、その他の決意を具体的に記述しよう

早いもので大阪成蹊短期大学での2年間も終わろうとしています。

身についたこともたくさんあるでしょうし、逆に今さらながらああすればよかった・・・、こうすればよかった・・・と思うこともあるのではないのでしょうか？

でも、大切なのはその感じたことをこれからどう活かすかです。良いことも、またそうでないことも無駄なことではないはずです。2年間を振り返って、今後の歩みにつなげてください。

15 Final Stage (2回生後期) を振り返って

(カッコに、A：できた、B：まあまあできた、C：あまりできなかった、D：できなかったを記入しよう)

15	< 態度・マナー面 >	
	目標のために継続して努力した	()
	約束や提出物の期限を守るなど、すべきことをきちんとした	()
	周りのひとと協力して物事を達成した	()
	あいさつは自分から積極的にした	()
	丁寧な言葉で話をした	()
	< 学習面 >	
	卒業や資格、免許に必要な単位を落としていないか確認した	()
	授業には遅刻せずに出席した	()
	授業中、私語をせずに集中力を保った	()
	気持ちを切り替え、意欲的に授業にのぞんだ	()
	講師の説明をよく聞き、よくメモした	()
	授業以外で予習復習をした	()
	自分の考えをきちんと適切な言葉で説明した	()
	授業で学んだ内容を他の人に話した	()
	授業で分からないことはすぐに解決できるようにした	()
	より専門的な科目をがんばって受講した	()
	レポート提出に力を入れて取り組んだ	()
	卒業や資格、免許に必要な単位を落としていないか確認した	()
	< 生活面 >	
	卒業後の進路をきちんと定めた	()
	友人と卒業旅行の計画を立てて実行した(旅行先:)	()
	一人暮らしができるように(掃除、洗濯、自炊など)心がけた	()
	短大生活で得た友人、親友は誰かを考えた	()
	内定先の人と親しくなる努力をした	()
	気の合わない人とも積極的に話をした	()
	日常の出来事やニュースなどの話題を、友人や家族とした	()
	新聞やニュースなど、世の中の動きを欠かさずチェックした	()
	多くの年配の人と話をした	()
	社会に出て必要となる資格を取った(具体的に:)	()
	家族やまわりの人と具体的な将来像を話した	()
	卒業後の進路をきちんと定めた	()

16 短大での2年間を総合的に振り返って

(カッコに、強く思う…◎、少し思う…○、あまり思わない…× を記入しよう)

- 16
- () 目標や課題を持って取り組むことの大切さが実感できた
 - () あいさつや正しい言葉遣いが身についた
 - () 入学前よりも努力できるようになった
 - () 目の前のすべきことをコツコツできるようになった
 - () 人に頼らず物事を自分で判断できるようになった
 - () 何事にも前向きなとらえかたができるようになった
 - () 短大で学んだ専門分野に対する興味が高まった
 - () 短大で学んだ専門分野に対する知識が高まった
 - () 基礎的な技術が身についた
 - () 卒業後の就職現場に必要な基礎的实践力が身についた
 - () 取りたい免許・資格が取得できた
 - () 社会に出て、これまで以上に努力する決意ができた

2年間を振り返って、できたことやできなかったことを具体的に記述しよう
<態度・マナー面>

<学習面>

<生活面>

17 将来に向けて何を考えましたか

<p>自分は卒業後の進路をどのように考えているのだろうか。</p> <p>もしくは、自分の人生をどのようなものにしていきたいと考えているのだろうか。</p>	
<p>自分は社会に対してどのような貢献ができるのだろうか。</p> <p>もしくは、社会でどのようなことがしたいのだろうか。</p>	<p>どんなこと、どんな貢献をしたいのか、なるべく具体的に書こう。</p>
<p>就職後の職業だけでなく、仕事以外の活動が社会にどう貢献できるか考えよう</p>	<p>なぜそう思ったのか、実現するためにはこれからどんな努力が必要だろうか。</p>
<p>関心が生まれた、もしくは関心が深まった職業は何だろうか。</p>	<p>その職業は社会にどのような役割を果たしているのだろうか。</p> <p>なぜその職業に関心を持ったのだろうか、もしくは関心が深まったのだろうか。</p> <hr/> <p>その職業にはどんな能力が必要だろうか。</p>

18 まわりとの関係に目を向けてみよう

この一年間で、出会って良かったと思える人はだれだろうか。

その人の名前や特徴。

その人とはどのような関係にあるのだろうか。

なぜ良かったと思えるのだろうか。

19 最後に…

入学してから2年間の学生生活を振り返った感想を書いてみよう。

大阪成蹊短期大学に入学して良かったことは何だろうか。

「もう少しがんばれば良かった」と思うことは何だろうか。

将来の目標や夢は何だろうか。

大阪成蹊短大や先生に対するメッセージ。

資料 短大時代の成果をまとめておこう

免許や資格の取得・様々な講習会への参加の記録		
時期	年 月 日	具体的な内容
入学前		
1回生		
2回生		

社会貢献・国際交流活動などの記録		
時期	年 月 日	具体的な内容
入学前		
1回生		
2回生		

アルバイト等社会における活動の記録		
時期	年 月 日	具体的な内容
入学前		
1回生		
2回生		

就職に関連する活動の記録		
時期	年 月 日	具体的な内容
インターンシップの記録		
企業見学・公共施設の見学などの記録		
キャリアサポートの相談などの記録		
就職・編入志望先への訪問記録		